

「名古屋大学研究力強化促進事業」若手新分野創成研究ユニット（B-3メニュー）

B-3：若手新分野創成研究ユニット（これまでに**26課題**採択）

【目的】異分野の若手（助教、特任助教、PD）研究者チームによる新分野への挑戦支援。優れた特任助教、PDが承継職員を目指す。

【施策】研究費支援（1ユニット50万～100万円：自主財源）。特任助教、PDはプロジェクト雇用から独立させ、教育経験の積める大学雇用へ。

【具体的取組】

特任・PDを含む若手研究者の育成と視野拡大を支援することにより、若手研究者による新分野の創成を目指す。これまでに、ユニット代表者や構成員がベンチャー企業を起業する、様々な賞を受賞するなどの成果が出ている。なお、特に秀でた研究活動が認められ、優れた研究成果が期待されるユニットに対し、引き続きフロンティアユニットとして支援を継続。（13課題）

B-3ユニット「緑の海仮説の検証と太陽系外惑星における生命活動の指標の提案」の研究成果が、『**Nature Ecology & Evolution**』に掲載されるとともに、異分野での若手ユニットを支援する本学の取組が、マスコミからの取材を受け、研究成果と共に、本学のB-3メニューも記事にて紹介。（R7.3.14中日新聞）



「新春・高等研究院若手大交流会」

名古屋大学の創発、T-GEx、YLC、B-3メニューの四つの若手支援事業のいずれかに採用されている若手研究者による研究紹介とテーマ（創発・若手研究者が先導する日本の科学力復活）に沿ったグループディスカッションを実施。

当日は、総長もディスカッションに参加



YLCプログラムの趣旨説明

趣旨： 名古屋大学は、学術憲章のもとで「**世界屈指の研究大学**」となることを基本目標として掲げている。その実現のためには、**独創的で挑戦的な基礎研究を推進する自立した若手教員が必要**となることから、本プログラムでは博士号の取得から間もない優れた若手研究者を**任期 5 年の特任助教（YLC教員）**として雇用し、広く国際的かつ学際的な視野に立って名古屋大学の教育研究の発展に貢献していくことのできる教員を育成・支援する。

- 高等研究院に所属する任期 5 年の特任助教（YLC教員）
- 毎年 8 名程度採用（今日現在のYLC教員数は**26名**）
- 兼担部局における各自の研究 + 高等研究院の活動に参加
- 2010年度に発足し、十分な実績をもつ

YLCプログラム修了者の現在

採用年度	教授	准教授	講師	助教	その他 (企業・海外)	計
2010	6	2		1	2	11
2011	2	1	1		2	6
2012		2		1	1	4
2013	2	1	1		3	7
2014		9	1		3	13
2015		3		1	3	7
2016	1	2		2	1	6
2017		4	2	2		8
2018		4	1	1	2	8
2019		1	1	4	2	8
2020 (最終年度)		1	1	3	1	6
計	11	30	8	15	20	84

名大在職者は現在26名